

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防火・避難訓練を年2回行っているが、火災に限った訓練が多く、その他の災害に対する訓練も望まれる。また、夜間を想定した通報・訓練の実施が必要である。	年2回の火災避難訓練に夜間想定訓練を取り入れる。火災以外の災害に対して避難訓練を行う。	・火災通報・避難訓練の際に夜間想定訓練を取り入れる。 ・火災訓練以外に地震・風水害などの災害に対する避難・想定訓練を行う。	12ヶ月
2	6	定期的に身体拘束について職員全員で研修を行い理解を深めている。契約時、又はやむを得ず拘束をする場合においては家族の了承をとっているが、書面として残せていない。	一時的な身体拘束であっても、家族への口頭での了解だけでなく、書面として残すようにする。	・一時的に人手不足により見守りが不十分となる場合の施設について、改めて家族に話をし、書面に明記し記録を残す。 ・職員間での情報共有を図り、抑圧感のない支援に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。